

# 令和3年度 行橋市立今元小学校 学力向上プラン

## ■視点1-②

《中期目標》意欲をもって主体的に学び続け、活用型の学力を身につけた児童の育成  
 〈成果指標〉 令和5年度の全国調査の標準化得点:国語105以上,算数100以上

《短期目標》授業と家庭学習を繋ぎ、めあてをもって主体的に学習する児童の育成  
 〈成果指標〉 令和3年度の全国調査の標準化得点:国語105以上,算数105以上  
 (令和3年度福岡県学力調査【中1】において、県標準化得点:国語105以上,数学100以上)

## ■視点5

### 【家庭・関係機関との連携】

#### 〈取組〉

- ①家庭学習の共通理解  
(家庭学習の手引き配布)
- ①「宿題100%達成週間」  
今元中定期考査に合わせた家庭学習習慣化の取組(6・9・11・2月)  
(児童の振り返りと課題、保護者のコメント記入のもの)
- ②算数科における予習ノートの取組
- ②タブレットを活用した自主学習

#### 〈成果(指標)〉

- ◆家庭学習時間(低学年30分・中学年40分・高学年60分)の児童の割合 全校90%以上

## ■視点2

### 【授業づくり(算数科)】

[意欲をもって主体的に学ぶ場の設定]

#### 〈取組〉

- ②児童が主体的に取り組み、見通しをもって授業に臨む予習ノートの徹底
- ②1単位時間内にふり返り活動を2回以上取り入れた学習過程

#### 〈成果(指標)〉

- ◆児童の学習アンケートによる評価(「予習をする学習は役に立っている」3.5以上:4段階評定尺度)
- ◆授業チェックリスト(「コンピューターや情報通信ネットワークを活用した学習が行われている」3.5以上:4段階評定尺度)

[活用型の学力を身につける場の設定]

#### 〈取組〉

- ⑤1単位時間内に活用問題を取り入れた「教えて考えさせる」授業展開
- ⑤授業内での活用問題や単元末の習熟に「虎の巻」の問題を扱う。(100%)
- ④根拠を示して自分の考えを表現する場(話す・書く)の設定(毎時間)

#### 〈成果(指標)〉

- ◆標準学力調査で、標準化得点105以上

## ■視点4

### 【教員の意識・指導力の向上】

#### 〈取組〉

- ③全国学力調査問題の活用における校内研修(6・9月)
- ⑤「学力向上虎の巻」の活用(算)
- ③主題研に係る授業公開(全員)
- ③授業研に伴う全体研修(年3回)
- ③タブレットを使った授業実践(全員)及び研修
- ③初任者研修と絡めた授業実践公開(全員)
- ⑥校区内小中合同教務担当者会の実施(年6回)

#### 〈成果(指標)〉

- ◆教員アンケート  
学校評価3.5以上(4段階評定)

## ■視点3

### 【学力基盤づくり】

- 〈取組(指標)〉 ①学力向上週間(さわやか計算week・宿題100%提出)の実施(6月・9月・11月・2月)  
 ①学力強化週間(6年:4月、5年:6月、2年:12月、4年:1月) ②家庭学習の記録を書く“頑張りカード”の記入(全学年:毎日)  
 ①基礎・基本の習熟を図る徹底反復練習(漢字・計算:毎日) ①朝活 担任外全学年入り込み体制(毎日)
- 〈成果(指標)〉 ◆行橋市標準学力調査 算数「基礎」における標準化得点105以上  
 ◆児童質問で、「学習」に関する肯定的な回答率:90%以上

## ■視点1-①

### 全国学力・学習状況調査結果から見た課題

### 要因(授業づくりやその他学校の学力向上の取組)

全国調査標準化得点	国語		算数		・国語:問題の意味を正しく理解し、条件を満たして答える。 ・算数:必要な数量を見出し、それらを関連付け、根拠を明確にして答える。 ・学力の二極化が目立つ。
	R1	R2	R1	R2	
	101.8	100.9	99.0	107.4	
質問紙調査等	・家庭での学習時間 (2時間以上 全体の11%) ・読書時間 (1時間以上 全体の13%) ◆授業チェックリスト(「コンピューターや情報通信ネットワークを活用した学習が行われている」評定1.8:4段階評定尺度)				
	①漢字や計算のやり直しの徹底、反復練習等の基礎的・基本的な学習の指導不足 ②主体的な目標設定、評価、称賛の場の不足 ③各教科の指導目標や指導計画、評価等の教材研究不足 ④根拠を示して自分の考えを説明する場の設定不足 ⑤数学的な表現を用いて、論理的に考え、説明する学習活動不足 ⑥中学校区で子どもを育む意識の不足				